



依頼者名: 株式会社 SORIN 殿

結果報告日: 2018年1月15日

報告書番号: RIN18IN001CW1

試料名 : doshiwater 道志村の天然水
2017年12月19日製造分
LOT番号:171219
検体特記事項: 試料名は依頼者記載
検体量 : >2kg

株式会社 同位体研究所
代表取締役 埴 美乃
横浜市鶴見区末広町1-1-40
横浜市産学共同研究センター内
TEL:045-718-5457 FAX:045-502-4555

ISO/IEC 17025 認定分析機関 (PJLA L12-175)
放射性物質核種分析検査 (Cs134, Cs137, I131)

検査及び

判定法: 厚生労働省「緊急時における食品の放射線測定マニュアル」に準ずるGe γ 線スペクトロメーターによる核種測定 (定量下限 0.5 Bq/kgでの飲料水核種測定)

分析結果: Ge定量0.5

核種	分析対象品目分類	測定値	単位	定量下限値
Iodine-131	水	ND	Bq/kg	0.44 Bq/kg
Caesium-134 Caesium-137	国内は、合算規制値	ND ND	Bq/kg Bq/kg	0.35 Bq/kg 0.49 Bq/kg
放射性セシウム計	水	ND	Bq/kg	

測定値がNDと表記の場合、定量下限値にて検出なし(Not Detected)を意味する。
定量下限値:測定毎にバックグランド等を踏まえた測定時定量下限値

放射能検査に関する注記:

本測定は、「緊急時モニタリング計画における食品の放射能測定・分析」に基づき、ゲルマニウム半導体検出器により、放射性ヨウ素(I-131)、放射性セシウム(Cs-134, Cs-137)の放射線核種を測定する。
本測定時は、定量下限値の2/3を検出下限とし、ND(不検出)表記の場合は、検出下限にての検出がない事を意味する。 定量下限と検出下限値の間での検出値がある場合、測定時間を延長の上、確定を実施。
測定装置: CANBERRA GC2020又はORTEC GEM20-70
測定容器: 2Lマリネリ容器を使用する。ただし、検体量が不足する場合、U8型容器にて実施。

結果注釈: 放射性ヨウ素(I-131)・セシウム(Cs-134, Cs-137)検出なし

注) 検査結果は、依頼者より提供された検体の分析結果であり、弊社は、当該検体の分析結果についてのみ、その結果を証明します。弊社は、検体の収去に一切関与しておらず、検体以外のいかなる製品に対して、この分析結果を証明するものではありません。本分析試験報告書を弊社の許可なく無断で転載し、使用することを禁止します。(ただし、行政機関による検査の場合を除く)